

vol.
29

わかば 通 信

社会福祉法人 能登福社会
URL: <http://www.homewakaba.com>

〒926-0014 石川県七尾市矢田町22号七株田12番地5
TEL.0767-53-8700(代表) FAX.0767-53-8715



あっとほーむウエスト
『病退散の願いを込めて』
編み物教室のお仲間同士でアマビエを編みました

介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム あっとほーむ若葉
TEL.0767-53-8701 FAX.0767-53-8715

養護老人ホーム あっとほーむ若葉
TEL.0767-53-8702 FAX.0767-53-8716

短期入所生活介護 特別養護老人ホーム あっとほーむ若葉
TEL.0767-53-8701 FAX.0767-53-8715

居宅介護支援事業所 あっとほーむ若葉
TEL.0767-53-8703 FAX.0767-53-8718

訪問介護 ヘルパーステーション あっとほーむ若葉
TEL.0767-53-8704 FAX.0767-53-8718

七尾市在宅介護支援センター あっとほーむ若葉
TEL.0767-53-8713 FAX.0767-53-8717

通所介護 デイサービスセンター あっとほーむイースト
TEL.0767-53-6690 FAX.0767-53-6691

通所介護 デイサービスセンター あっとほーむウエスト
TEL.0767-54-0477 FAX.0767-54-0551

小規模多機能型居宅介護施設 あっとほーむコモド
TEL.0767-59-1290 FAX.0767-59-1291

小規模多機能型居宅介護施設
サービス付き高齢者向け住宅 あっとほーむレガール
TEL.0767-53-0071 FAX.0767-53-0072



『高階くれない太鼓さんと太鼓体験』

あっとほーむレガーレ
リズムカルでお見事！



『中に入りたいの？』

あっとほーむコモド
狸が遊びに来ました

『雨上がりの午後』

あっとほーむウエスト
屋根まで飛んだ♪



PHOTO CONTEST

フォトコンテスト



『うちわでピンポン玉おとしゲーム』

あっとほーむイースト
簡単なようでなかなか入らない！



『洗濯ばさみ繋ぎゲーム』

あっとほーむイースト
指先トレーニング、
どこまで繋がるでしょう



『今日はお弁当♪』

あっとほーむレガーレ
「でかやま弁当」でお祭り気分を演出

あつとほーむ 若葉

あつとほーむの味を ご家庭に

令和2年4月より、七尾市からの委託を受け食の自立支援事業として配食サービスを始めました。お一人暮らしなどの高齢者世帯で、調理や買い物が難しい方へ栄養バランスの摂れたお弁当を届けています。

あつとほーむ若葉で調理したお食事をお弁当箱に盛り付けご家庭に配達し、その際に利用者さんの様子にお変わりはないか、安否の確認を行うことが主な事業です。

注目していただきたいのが『配食までの準備はほとんど養護老人ホームの利用者さんが主体となっており、施設と利用者さんが契約を行い、就労支援としてお弁当箱のセッティングや、炊飯、盛り付けを担当しています。』という点です。

現在4名の利用者さんが配食サービスに携わり、毎朝メニューを確認し、彩りを考えながら盛り付け方を決定します。盛り付けを行う上でとても大切な「いかに美味しく見せるか」であり、



『自分が食べたいと思うような美しい見栄え』をモットーに毎日盛り付け方を考えています。工夫しているのは見た目だけでなく、汁物の位置、味の移りにも気を配り、ご飯の熱がおかずに移らないかなど利用者さんがアイデアを出し合い盛り付けしています。

お弁当を作る上でもうひとつ大切なことがあります。それは何といっても「清潔第一であること」。

念入りの手洗いから始まることはもちろん、爪の長さのチェックや髪や服の身だしなみにも常に注意し、お弁当箱の消毒、調理場の清掃・消毒も毎日入念に行っています。

利用者さんの細心の注意と真心が込められたお弁当は、嬉しいことに満足度アンケートで「美味しい」とのお声を多くいただいています。このお声は利用者さんのやる気にも直結しており、「美味しいと言ってくれる人がいると嬉しい」と大きなやりがいとなっています。

また、配食事業は就労契約のため、働いているという実感とお客様の「美味しい」の声が利用者さんのやりがいとなり、また次の日の美味しいお弁当に繋がる…このような素敵な輪がこの先も長く続いていけば良いと思っています。



宅配日 月～金曜の昼食

(土日祝・年末年始休み)

料金 1食600円

サービスのお問合せ

☎ 53-8702

平日 8時30分～17時

申し込みには、市役所への申請が必要となります。

あつとほーむ 若葉

技能実習生が仲間入り

ベトナムからあつとほーむ若葉へ、4月に2人のフレッシュな職員が仲間入りしました。

ハさんと、フォンさんです。技能実習生として日本にやってきました。

「技能実習」とは、発展途上国の若者を実習生として日本で受け入れ、実務を通じて実践的な技術や技能・知識を学び、帰国後は、母国の経済発展に役立ててもらうことを目的として設立された公的制度です。実習生は、実践的なスキルを高めるために3～5年間の技能実習を行います。

「国際人材」として、多様で優秀な人材が加わることによって、私たちスタッフに良い効果が波及しています。



グエン・ティ・
トウ・ハさん

・なぜ日本に行きたいと思ったのですか？

日本の文化と景色が好きで、外国で働く体験ができて外国語を勉強できるからです。

・日本で楽しみたいことは？

お祭りに参加したり有名な所を観光したいです。あとは浴衣を着てみたいです。

・自分の性格は？

ロマンチストで楽天的です。

・日本に来て驚いたことは？

日本の方が心から手伝ってくれるところです。

・好きなことは？

読書

・ひとこと

自分の人生を意義あるものにするために毎日を頑張りたい！



グエン・ティ・
ティン・フォンさん

・なぜ日本に行きたいと思ったのですか？

隣に親族がない状況で自立した生活を体験したり、新しい環境で高齢者に役立つ仕事をできると思ったからです。

・日本で楽しみたいことは？

新しい場所を観光したいです。また、文化や暮らしを学びたいです。

・自分の性格は？

怖がり、自分に厳しい、プラス思考。

・日本に来て驚いたことは？

ご近所の方が親切で親しくしてくれることです。また、日本に高齢者が多く、年齢を重ねても熱心に働き続けていることにも驚きました。

・好きなことは？

旅行やスポーツをすること

・ひとこと

日本語で上手にしゃべったり、利用者さんを上手にお世話できるようにになりたいです。

東南アジア諸国の人々は、明るく、ホスピタリティが高い国民性の方が多くそうで、二人も同様に、優しく明るい人柄で施設を明るく照らしてくれています。

二人が働く今日までには長い期間をかけました。職員が数回にわたり現地へ赴き、日本への送り出し養成機関で学習状況を確認し、面談を重ね、安心して日本へ行き実習できるように、ご家族ともお話をしました。

二人は1年をかけて日本語や介護の専門知識、日本の生活や文化などの学習を積んできました。受け入れる私たち職員も指導や生活担当を兼任し、講習を重ね、受け入れの準備をしてきました。ベトナムでは看護師として活躍し、さらに上を目指して勉強中の彼女達。現在、日本式介護の知識を高めることはもちろん、日本語レベルの向上にも意欲的です！

あつとほーむ若葉には、今後もう一人入職する予定です。3人が介護士として素晴らしい力を発揮できるように指導をしていきます。

あつとほむ 若葉

緊急事態宣言を受け、 訪問介護の対応

4月13日に発令された新型コロナウイルス感染症に関する「石川県緊急事態宣言」を受けて訪問介護では、感染予防対策として、マスク、ゴーグルを着用し、利用者さんの体調確認を強化して感染防止に努めました。

一方、養護老人ホームの利用者さんが、デイサービスやデイケアへのご利用を自粛することになり、期間中は施設内で入浴することになったため、代替として訪問介護のサービスを利用して頂くことになりました。

その間、入浴だけではなく、少しでも楽しさを持って生活して頂けるよう工夫したいと思い、ヘルパーがレク材（運動系と頭脳系）を手作りし、その日の気分に応じて利用者さんに選択してもらい、取り組んで頂きました。

コロナ禍では、地域の状況によってサービスの変動が起きる場合も想定されます。

今後もそのような対応を想定しながら、利用者さんに寄り添った訪問介護サービスを提供していきたいと思っています。



あつとほーむ
イースト・
ウエスト・
コモド・
レガール

世界に一つだけの マスク作り

新型コロナウイルス感染症の流行により、マスク不足に悩まされた時期がありました。

あつとほーむイースト、あつとほーむウエスト、あつとほーむレガールでは、リハビリとしての手作業の一環として「世界に一つだけのマスク作り」を行いました。裁縫の好きな利用者さんも多く、沢山のおしゃれなマスクが完成し、地元町会や老人会など地域の方にもお配りしました。



また、あつとほーむコモドでは、内側に不織布を入れることができるマスクを職員が手作りし、利用者さん全員に贈りました。

暑い時期には、マスク着用による不快感を少しでも軽減できるよう、また熱中症に繋がらないよう水分補給などの対策を実施しました。

感染拡大が早く収束し、マスクのない利用者さんの笑顔が見られることを願っています。



あつとほーむ レガール

人生の先輩にインタビュー

あつとほーむレガールを利用されている山崎よし様に、これまでの歩みについてインタビューさせて頂きました。



山崎よし様
昭和2年生まれの92歳。中能登町ご出身で20歳で結婚され、七尾市に嫁ぎ、26歳の時にご主人と一緒に「山崎商店」を始められたそうです。

職員 山崎商店を始めて大変だったことを教えてください。

山崎様 最初の頃は品物が全く売れなくてたいそしたわ。けど、せっかく始めたから頑張ろうと思つて。そのうち売れ出してお客さんも来てくれる様になってね。

職員 お客さんが来てくれる様になって変わりましたか。

山崎様 忙しくなつてね。配達もすることになったらバイクの免許取らなダメになって、2回目でもやっと受かった。ガスが普及し出したら20kgもあるガスボンベも配達してね。U字溝にバイクのタイヤがはまつた事があつて、事故は起こさんかつたけど、近所の人呼んでバイク起こしてもらつたにしてね。ボンベも1回自分の足の上に落としたことあつて、あれは痛かつたわ。

職員 一番思い出すことは何ですか。

山崎様 夫が地元の消防団に入つとつて近所に火事とかボヤがあると、仕事ほつといて駆けつけとつたわ。その間、私一人で店番しとつて、それ大変やつたわ。

職員 昔のご自分に言いたいことや、ご家族に伝えたいことはありますか。

山崎様 店を始める前は貧乏のどん底で本当に大変やつたわ。でもどんどんお客さんとか来てくれるようになって、息子も文句言わんと後継いで一緒にしてくれて、孫もひ孫もいっぱいおつて嬉しいわ。色々あつたけど本当に良かったわ。みんなに感謝しとるよ。

インタビューの最後は感慨深そうに話してくださいました。現在も店番をしながら、近所の方々

とお話するのが楽しい。とおっしゃっていました。笑いながら楽しそうに、大変懐かしそうに話して下さいました。

レガールを利用している日は職員に「ありがとう」「や「おやすみ」など必ず声を掛けてくださるとても優しい方です。今回インタビューをさせていただき私たち職員が知らなかった話など、大変貴重なお話を聞くことができました。

インカムを導入して

あつとほーむでは、今年からインカムを使用して日々の業務に当たっています。

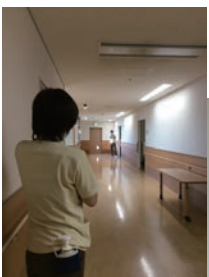
館内の離れた場所においても、伝えたい情報を一度に多くの職員が共有することが出来るため、ケアを行う上でとても役立っています。伝達の度に移動して連絡する労力が削減され、その分利用者さんへのケアに注力でき、職員の負担軽減に繋がっています。

また、利用者さんの急変時にも応援要請がしやすく、即座に対応ができます。

初めはなかなか使いこなせず手間取ることもありましたが、今では使用している姿も様になりました。

インカムのイヤホンを使用することで周囲の音が聞き取りづらくなるので注意して聞き取りを行ったり、大きな声で話すよう心掛けています。また、本体から延びるコードが利用者さんや車椅子に引っ掛からないよう服の内側を通す等、工夫を重ねながら運用しています。

今後も口頭確認と合わせてインカムを使用することで、より安全・安心なケアを利用者さんに提供できるよう取り組んでいきたいと思っています。



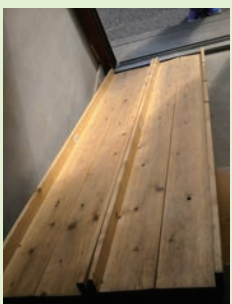
優しい気配りにほっこり

あつとはーむのフェイスブックに掲載した、
優しさあふれるDIYをご紹介します。

居宅介護支援事業所と訪問介護を利用されて
いる宮崎昭子様と堀淨豊様のご自宅には、ご家
族が手作りされた立派なスロープがあります。

デイサービスのご利用の際や外出時に活用さ
れており、愛情のこもったスロープに、利用者
さんは大変喜ばれています。

フェイスブックでは、各事業所の職員が、取



宮崎様宅



堀様宅

り組みやイベントなど様々な出来事を取り上げ
ています。

ホームページの「トピックス」から閲覧できま
すので、皆様どうぞご覧下さい。

<http://www.homewakaba.com>

ウエブ会議を導入

新型コロナウイルス感染症の予防対策として、5月
から委員会などの打ち合わせに、オンライン会議を取り
入れています。

職員が一同に集まること
で、感染リスクが拡がり、
サービスの提供がストップ
しないよう、事業所を超え
て感染を拡めないよう始め
ました。

導入した結果、事業所間
の移動が省略できるため、
利用者さんへのケアに集中
できる時間が増えました。

数十人が同時に繋がるこ
とができるので研修会にも
活用でき、新たな働き方の
一つとして定着しています。



ご寄付頂き

ありがとうございます。

福祉の向上に心温まるご芳志を

ありがとうございます。

西村 眞一様

〔令和2年4月〕

令和2年8月末日現在

(順不同)

利用者さんの為になるように使用
させていただきます。皆様の温か
い善意に感謝申し上げます。

ボランティアの受け入れについて

新型コロナウイルスの感染予防
のため、利用者様の健康と安全を
最優先に考慮した対策を続けてお
ります。

当面の間、地域の方との交流や、
ボランティアの皆様の施設内への
来訪を休止させて頂いています。
ご理解のほどよろしくお願いい
たします。



編集後記



見えないウイルスのニュー
スに恐々と暮らす毎日。

強い気持ちを持ってウイル
スに打ち克つため、広報委員
会では事業所合同で「あなたの
アマビエコンテスト」を開催
し、模写部門と作品部門でア
マビエ創作をしました。

アマビエとは、古くに伝わ
る病除けのご利益があるとさ
れる妖怪。その姿を模写する
と病にかからないという言い
伝えがあります。60人以上の
利用者さんが参加され、職員
と一緒に疫病退散の気持ちを
込めて、押し花や、編みぐるみ、
神棚などオリジナルティあふ
れるアマビエを作りました。
人とふれ合える日常が一日で
も早く戻りますように！



広報委員



小山 真季 今田 京子
打越 利奈 勝山 理美
森田佑利子 谷口 光枝
山崎 加代 近間 育滋
畠 栄子